

がん教育実施報告書

学校名	福島県立安積黎明高等学校		
実施対象者 (学年・保護者など)	1年生(280名)		
教育課程の位置づけ	体育・保健体育	道徳	学級活動・HR活動 講演会・行事 その他()
実施日時	令和6年12月6日(火) 13:00 ~ 14:00		
打合せについて	【1回目】方法:メール 内容:講話の依頼 実施方法について		
	【2回目】方法:メール 内容:進め方と資料の内容について		
外部講師 職・氏名	職名 看護師	氏名:戸室 真理子	
実施内容	<p>【講話】 「がん患者理解と共生」「緩和ケア」</p> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん患者への理解 ・がん患者との共生 ・緩和ケアについて ・質疑応答 		
	<p>【指導過程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会に内容を踏まえて、「がん患者への理解と共生」「緩和ケア」について、今後の生活にどのように活かしていくか自分の考えをまとめる。 		
成果等	<p>【生徒の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改めてがん健診を受けることが大切だと思いました。自分自身のためでもあるが、それと同時に周りの人のためでもあると思いました。 ・周りの人や家族、大事な人ががんになってしまったとき、自分はどうか寄り添い、どうしたいかあらかじめ考えておくことが必要だと感じた。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・私は大切な人をがんで失ってしまった経験がある。その時にどのような言葉をかけてよいのか全く分からずにいるうちに、その人とは二度と会えなくなってしまった。今回の講話を聴いて、周りの人への接し方や、普段から生活習慣に気を付けることなど学べてよかった。 		



・がんは自分が思っているほど怖い病気ではなくて、適切な治療法があり、絶対に治らないわけではないとわかりました。

・自分は将来、医療系の職業に就きたいと考えているので、患者さんに寄り添い、優しく声をかけられるように今日学んだことを生かしていきたいです。

・医療関係の仕事に就きたいと考えています。実際に患者と向き合う戸室さんのお話を聞いて患者さんへの対応を学ぶことができました。

・がんは生活習慣病の一種であるため、普段から自分の食生活や生活のリズムを整え、大人になってもお酒やタバコに手を出さないようにしたいです。また、身近な人ががんになってしまったとき、寄り添って声をかけてあげられるようにしたいです。

・自分の一度きりの人生を後悔しないように生きていきたいです。また家族と一緒に過ごしている、今の時間を大切にしたいと感じました。将来、医療に関係する仕事に就きたいと考えているので、このような講演はとても勉強になりました。

・治すことが容易ではないがんを患っている患者さんの言葉が心に染みました。些細なことでも幸せと感ずること、死の覚悟を決めることは開き直すことではないということ。今自分にできることを整理し、それが達成できるまで死ねない！と思うことなど、がんを患っている本人しか分からない気持ちを知ることができ、とても有意義な時間でありました。

・もし、私も（戸室さんと同じように）大切な人ががんになってしまったら、その人と一緒に不安の渦に巻き込まれるかもしれません。しかし、その中でも一片の希望がどこかに残っているのだとしたら、私はそれを大切な人と一緒に探します。その人の苦しみを自分のことのように悩んで、がんを打ち勝とうと思います。これは他のことでも同じだと感じました。勉強や部活動も一人ではどうにもならないものが現れた時、互いに助け合うことの大切さを今日の話を通して感じました。そして、死の恐怖に勝る、生きたいと願う気持ちがあれば病気に負けないのだと思います。

様式2